

岩手・宮城県際ネットワーク

— 平成 30 年 11 月 28 日発行 — (担当公所：岩手県沿岸広域振興局) (第 157 号)

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県	県南広域振興局経営企画部	0197-22-2812	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
岩手県	沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター	0192-27-9911	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
宮城県	北部地方振興事務所栗原地域事務所商工・振興班	0228-22-2195	http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsgsin/
宮城県	東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班	0220-22-6123	http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsgsin/
宮城県	気仙沼地方振興事務所 商工・振興班	0226-24-2593	http://www.pref.miyagi.jp/ks-tihouken/

圏域情報

◆◆◆◆ 岩手県 沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター ◆◆◆◆

“ストリートラグビーでレッツトライ！”「ラグビーふれあいイベント」開催！

10月28日(日)、大船渡市民テニスコート前広場にて「ラグビーふれあいイベント」が開催され、ストリートラグビーの体験会が行われました。

このイベントは、来年のラグビーワールドカップ釜石開催の機運を高めるとともに、幅広い年代の方のラグビーへの興味醸成を目的として、沿岸広域振興局主催で開催されたイベントです。

ストリートラグビーとは、広い場所がなくてもできるように考案されたラグビーで、3対3でゲームを行います。通常のラグビーはタックルで相手の動きを止めますが、ストリートラグビーはタッチをするだけなので、女性や子どもでも安全にプレーができるスポーツです。

当日は、1歳の赤ちゃんから91歳のおじいちゃんまで100名を超える多くの方々が体験され、青空の下、皆さん元気に走り抜けていました。最初は、不安げだった子どもたちが

ディフェンスを振り切り、トライを決めると満面の笑顔を見せてくれたのが印象的でした。



ラグビーワールドカップ2019は来年9月20日に開幕となり、9月25日と10月13日には釜石鶴住居復興スタジアムでの開催が決定しています。

■お問い合わせ先

岩手県 沿岸広域振興局
大船渡地域振興センター
電話：0192-27-9911

オープンファクトリー五感市が開催されました！

11月9日(金)から11日(日)までの3日間、平泉町・奥州市・一関市の3つの地域で「オープンファクトリー五感市」が開催されました。

“オープンファクトリー”とは、工場を一般開放し、モノづくりの現場を実際に見学・体験してもらい、地場産業のブランド力強化やモノづくり人材の育成・確保、産業観光による交流人口の拡大等につなげるものです。

近年、来場者5万人に上る新潟県燕三条の「工場の祭典」や富山県高岡市の「高岡クラフツーリズム」など、全国的にも注目を浴びているオープンファクトリー。世界遺産平泉を抱えるこの岩手県南地域でも、南部鉄器や岩谷堂箆笥、秀衡塗の伝統工芸をはじめとしたモノづくりの現場や、食産業を含む26社が参加し、県南地域を盛り上げました。

体験メニューを設けた企業も多く、染物や漆塗り、醸造体験など参加者は様々な体験を楽しみました。



見学や体験を通して“五感”で職人の技や商品の価値などを感じることができるイベントとなりました。



【参加企業】

<一関市>

京屋染物店・丸三漆器・小山太鼓店
一関シネプラザ(イーハトーブ東北)
和服工房 小春屋・松栄堂・狛鼻溪舟下り
磐乃井酒造・及川石材店・京呉服すがわら
佐々木製箆店・世嬉の一酒造・八木澤商店
精茶百年本舗・館ヶ森アーク牧場
テクノボンズ・一関ミート

〔案内所〕一BA (いちば)

<平泉町>

翁知屋(おおちや)・チバインテリア
アグリ平泉

〔案内所〕翁知屋

<奥州市>

佐秋鑄造所・岩谷堂タンス製作所
彫金工芸 菊広・及源鑄造・回進堂・正法寺
〔案内所〕Cafe&Living UCHIDA・及源鑄造
(順不同)

■お問い合わせ先

京屋染物店

電話：0191-23-5161

<http://iwate-kennan-kogei.com/openfactory/>

地域づくり団体協議会栗原支部の活動をご紹介します！

「名前は知っているけど」「昔からあるよね」。地元で地域づくりに取り組んでいる団体が、どのような活動をしているかについては、団体同士でも意外と知られていない場合があります。そこでみやぎ地域づくり団体協議会栗原支部では、「活動拝見！地域づくり見学会」と題して、各会員団体や地域を訪問し、地域資源の再発見や磨き上げを行う活動を平成27年10月から継続して行っています。

今年度の第1回目となる11月10日の見学会では、知っているようで知らない地域の歴史を学ぼうと、一迫地区の街並みを散策しました。「ゆっくりのんびり一迫 I.N.K (いなか) 散歩」と題した見学会の案内人は、当支部会員「町おこしユリの会」の黒澤征男会長。地域を良く知る黒澤会長の案内で、まずは真坂商店街を訪問。松尾芭蕉の句碑「時雨塚」がある秋葉神社や地元産の桐などを使って箆笥や創作小物を作る工房「みつづか」、地酒を取り揃える「見世商店」を訪問しました。手間暇かかっても、汚れが一番落ちる昔ながらの水洗いを続ける堀江クリーニング店店主のお話も伺いました。また、能面師菅原夢玄氏の工房「夢玄面友会」では、能面と神楽面の違いや般若面の持つ意味などの説明があり、参加者は「へー」、「そうなんだ」と興味深く聞き入っていました。職人の技を守りながら地域に根ざし、地域とともに生きる商店街の姿に触れることができました。



(案内人の黒澤氏(左から2人目))

また、白河家の城下町として栄え、家老が揃って暮らしていた川内地区では、昔から拡張されず今も生活道路として使われている城下町の道路を歩きました。その時代にタイムスリップし、昔の人とすれ違えるような錯覚に浸りながらその土地の歴史に聞き入りました。その後、伊豆野堰を訪問し魚の遡上に配慮し設置された魚道を見学するなど、栗原地域の素晴らしい大自然を満喫しました。

次に訪れたのは、仙台藩家老遠藤公が治めた川口・滝野地区。地域に暮らす佐藤一臣氏から、大火を経て変えられた街づくり、細倉鉦山への送電や労働力として重宝された地域の歴史が紹介されました。また、遠藤公の家臣である相目家に伝わる伝統の品々を特別に見せていただくサプライズには、参加者から大きな歓声が上がりました。

案内人である黒澤会長のジョークを交えた話に、笑いの絶えない楽しい地域づくり見学会となりました。



(滝野地区の歴史に聞き入る参加者)

栗原支部では、これからも魅力ある地域づくりに向け、「地域づくり見学会」を継続していきます。皆さんも参加してください。

■お問い合わせ先

みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部事務局

(宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所
地方振興部商工・振興班内)

電話：0228-22-2195

みやぎ地域づくり団体協議会登米支部研修交流会を開催しました！

11月2日（金）に登米合同庁舎で平成30年度みやぎ地域づくり団体協議会登米支部研修交流会を開催し、市内で活躍する市民活動団体やコミュニティ協議会など、23名の方々が参加しました。

当日は、「住民が創る持続可能な地域運営組織と求められる人材育成」と題し、山形県の特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワークの事務局長である高橋 由和 氏に、住民主導の地域づくりや地域経営のマネジメント、後継者の育成など、きらりよしじまネットワークの取組内容を中心にお話をいただきました。

また、下記のような持続させる地域づくりにおける考え方についてもお話をいただきました。

①地域課題解決の4つの視点、4M（Man【人】，Machine【施設・拠点】，Material・Money【素材・財源】，Method【方法・情報】）。

②持続していくために、住民自ら動くということの標準化，資金の獲得，ビジネスをつくり雇用を創出していくこと。



③地域づくりで最も大事なことは、みんなで決めたことはみんなでやる，ということ。

④事業を進める上で、重要なのがPDCAの考え方（Plan（計画）→Do（実施）→Check（検証）→Action（改善））。この考え方は、地域づくりにおいて課題解決の技術であり、身につけていくことで、当事者意識が醸成されていく。

講演後のグループディスカッションでは、各グループで講演内容を地域課題解決の4つの視点（4M）でフィードバックすることで、学んだことをより一層身につけることができました。

今回の研修交流会は、それぞれの活動を見直し、今後の地域づくり活動促進へ第一歩を踏み出す良いきっかけとなりました。



■お問い合わせ先

みやぎ地域づくり団体協議会登米支部

（宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所
地方振興部商工・振興班）

電話：0220-22-6123

宮城オルレ「気仙沼唐桑コース」がオープン!

韓国・濟州島発祥のトレッキングコース「宮城オルレ」の「気仙沼唐桑コース」が10月7日にオープンしました。

オープン当日はオープニングイベントが開催され、韓国等海外からの観光客150人を含む500人がコースを楽しみました。



オープニングイベントでは、地域の伝統芸能「松圃虎舞」などが披露されました。



また、コースの中間地点付近では、地元住民からかき汁や地域で生産されたりんごが振る舞われました。

気仙沼唐桑コースは、唐桑半島の先端にある唐桑半島ビジターセンターから三陸復興国立公園の代表的な景勝地「巨釜・半造」までの約10kmのコースです。変化に富んだリアスの海岸線と、潮騒の間こえる森の道、小さな神社への参道などを歩き、唐桑半島の雄大な景色を眺めながら海と共に生きてきた唐桑の人々の暮らしや文化に触れることができます。



唐桑町内の宿泊施設などでは、かきやあわびなど、旬の味覚を堪能できます。地域特産の海産物等もぜひお楽しみください。

■お問い合わせ先

唐桑半島ビジターセンター内唐桑町観光協会

住所：気仙沼市唐桑町崎浜4-3

電話：0226-32-3029

開館時間：午前8時30分～午後4時30分

休館日：毎週火曜日

(但し、当日が祝日のときは翌日)

祝日の翌日

(但し、土日にあたるときは開館)



イベント情報など

◆◆◆岩手県 沿岸広域振興局経営企画部 大船渡地域振興センター◆◆◆◆

三陸鉄道「洋風こたつ列車」が運行されます！

三陸鉄道の冬の名物にもなっている「こたつ列車」が今年も運行されます。

こたつで温まりながら三陸沿岸の絶景を眺めることができるほか、美味しいランチやスイーツも楽しむことができます。

■運行日

平成 30 年 12 月 22・23・24 日

平成 31 年 1 月 13・14・19・20・26・27 日

平成 31 年 2 月 2・3・9・10・11 日

■時刻

盛駅 10：55 発 → 釜石駅 11：48 着

釜石駅 12：05 発 → 盛駅 12：58 着

■料金

乗車する区間運賃＋ランチ・スイーツ＋指定席料金（300 円）

■ランチ（ハイカラさんランチ）・スイーツ

特製三陸極み弁当 4,000 円

いわて恵みづくし 1,500 円

彩り浪漫 1,000 円

スイーツ BOX 500 円

■車内アトラクション

- ・ハイカラさんによる紙芝居披露
- ・虎舞披露
- ・絵馬用ホタテ貝の販売

■お問い合わせ先

三陸鉄道(株)釜石駅

電話：0193-22-1616

※乗車日の 2 か月前から受付開始

◆◆◆◆ 岩手県 県南広域振興局 ◆◆◆◆ 日本最大新春餅つき大会

一関市の一関大初売りの目玉イベントでもちつきを行います。歩行者天国となる大町通りで、臼(30 基以上)と杵による餅つきを一斉に行い、初売りに訪れた方に無料で振る舞います。

■開催日

平成 31 年 1 月 2 日(水)

■場所

一関市大町通り

■お問い合わせ先

一関銀座会

電話：0191-23-3012

【一関のもち文化】

一関地方のもち料理は伊達藩時代の治世に由来します。伊達藩では年貢米の査定として毎月 1 日と 15 日に餅をついて神様に供えることを課し、平安息災を祈ると共に休日とする習わしがありました。当時の貧しい農民たちは神様には白い餅を供えても自分たちは白い餅を食べることはできませんでした。そこで落ち穂や青米、くず米などを粉にして練り合わせ、雑穀をまぜて搗いた「しいなもち」とよばれる餅を食べました。この「しいなもち」をよりおいしく食べようと試行錯誤を重ねた結果生まれたのが様々なもち料理だといわれています。具材は保存食として身近にあった小豆、大豆、ごま、季節の素材の山菜やきのこ、さらには海や川、沼の魚介類など・・・先人たちの知恵と工夫の賜物であるもち料理は実に多彩です。次第にもち料理は農作業の区切りだけでなく、季節の行事、人生の節目などに欠かせないものとなりました。

◆◆◆◆ 岩手県 県南広域振興局 ◆◆◆◆
毛越寺^{はつかやさい}二十日夜祭

厄年の老若男女がたいまつの明かりを先頭に常行堂まで練り歩き、宝前にダイコンや野菜などの供物をささげて、無病息災、家内安全を祈願する献膳上り行列が行われます。最後に堂内では法楽として「延年の舞」が夜半まで奉納されます。



■開催日

平成 31 年 1 月 20 日 (日)

■場所

平泉町毛越寺

■お問い合わせ先

毛越寺

電話：0191-46-2331

◆◆◆◆ 宮城県北部地方振興事務所
栗原地域事務所 ◆◆◆◆
伊豆沼・内沼自然体験講座

「ガンの飛び立ち観察会&沼歩き探鳥会」

ラムサール条約湿地である伊豆沼・内沼で、ガンの飛び立ち観察会が開催されます。

伊豆沼・内沼で越冬する数万羽のマガンは、早朝に飛び立ち、えさを求めて周辺の水田に向かいます。この観察会では、朝日を受けて一斉にマガンが飛び立っていく、美しく、雄大な光景を見ることができます。また、沼のほとりで暮らす鳥たちを観察する探鳥会も行います。

観察会のあとは、宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター内のレストラン「四季味」で栗原の食材を生かしたおいしい朝食をいただきます。

マガンが飛び立つ時の羽音と鳴き声は、荘厳で迫力満点です。感動の瞬間を、ぜひご覧ください。



■日時

平成 31 年 1 月 19 日 (土)

午前 6 時～午前 10 時

■対象・定員

小学生以上 (小学生は保護者とご一緒に)

先着 20 名

■参加費

1,000 円 (朝食・保険料等)

■場所・お問い合わせ先

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

電話：0228-33-2216

E-mail：izunuma@circus.ocn.ne.jp

HP：<http://izunuma.org/>

◆◆◆◆ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◆◆◆◆
第15回日本一はっとフェスティバル

登米地域の郷土料理「はっと」が30種類以上集まる「第15回日本一はっとフェスティバル」を開催します。王道のしょうゆ味のほか、あずき味などの甘味、カレー味など個性豊かな「はっと」を一杯300円で堪能することができます。来場者による投票で「はっと大賞」が決定します。



- 日時
12月2日(日) 午前10時～午後2時
- 場所
登米市迫町中江中央公園
- お問い合わせ先
日本一はっとフェスティバル実行委員会
(登米市観光物産協会)
電話：0220-52-4648

◆◆◆◆ 宮城県気仙沼
地方振興事務所 ◆◆◆◆
秋・冬は南三陸をオトクに満喫!

冬の海の幸が旬を迎えるこれからの時期は、ぜひ南三陸町へ。

「東の志津川・西の明石」と称されるタコやあわび、かき、たらなど、三陸の海の恵みが盛りだくさんです。

南三陸町観光協会の公式予約サイト「みなたび」では、対象施設各先着30人限定で、1泊2食付きプランを通常価格から3,000円引きになる宿泊モニターキャンペーンを実施中です。

オトクに南三陸でのひとときを満喫できるチャンス! この機会にぜひご利用ください。



- 宿泊対象期間
平成30年11月1日(木)～
平成31年2月28日(木)
(各施設で定員に達し次第終了します)

- ホームページ
南三陸町観光協会
<https://www.m-kankou.jp/archives/207155/>
公式予約サイト「みなたび」
<https://minatabi.good-travel.info/>

- お問い合わせ先
一般社団法人南三陸町観光協会
TEL:0226-47-2550

◇◇◆◆◇ 宮城県気仙沼

地方振興事務所 ◇◆◆◇

ONE-LINE～気仙沼イルミネーション～

気仙沼の内湾などイルミネーションで彩る「ONE-LINE～気仙沼イルミネーション～」が開催されます。

大震災で大きな被害を受けた内湾地区に希望の光を灯したい、との思いで 2012 年からイルミネーションが始まりました。

気仙沼内湾を温かい光でつなぐ「湾ライン」と、市民が一丸となって復興に向かう「ONE」のふたつの意味が込められています。

点灯初日の 12 月 8 日（土）には、May J. さん、中西圭三さん、ワハハ本舗梅垣義明さんによるチャリティーライブも行われるほか、2000 発の冬花火も打ち上げられる予定です。



■期間

平成 30 年 12 月 8 日（土）～
平成 31 年 1 月 14 日（月）
午後 6 時～午後 10 時（点灯時間）

■開催予定エリア

気仙沼市内（海の市・田中前大通り・八日町エリア・協力企業社屋など）

■お問い合わせ先

ONE-LINE 実行委員会

ホームページ：

<http://kesenuma-christmas.com/>